

地方独立行政法人筑後市立病院経営強化プランに係る実績評価について
(評価対象事業年度：令和6年度)

令和7年10月7日
筑 後 市

1. 評価結果

経営強化プランは地方独立行政法人筑後市立病院第4期中期計画との整合を図り策定を行っているため、同中期計画の実績評価をもとに経営強化プランの評価として以下のとおり整理するものである。

役割・機能の最適化と連携の強化における項目では多くが目標を上回る一方、新規入院患者数や病床利用率が目標を下回り、公立八女総合病院との連携についても課題が残る。また、経営の効率化等に係る項目では、引き続きほとんどの項目で改善の取り組みが求められる状況となっている。筑後市立病院の実績総括においても記載されているとおり、収支改善計画の進捗と経営基盤の安定に資する取り組みが必要である。

病床利用率の向上など収益確保に対する取り組みの成果が見込めない状況を踏まえれば、大幅な経費削減などにより、まずは持続可能な経営基盤を回復させることに注力されたい。

2. 実績

経営強化プランに係る各数値目標に対する実績は以下のとおり。

項目				目標値 (R8 年度)	年度実績	達成率
2 役割・機能の最適化と連携の強化	4 医療機能や医療の質、連携の強化等に係る数値目標	1 医療機能に係るもの	救急車応需率	95.0%以上	92.4%	97%
			筑後市消防本部の八女 筑後医療圏内医療機関 への搬送率	68.0%以上	72.7%	107%
			訪問看護+リハ件数合計	2,000 件 年以上	2,560 件	128%
		2 医療の質に係るもの	医師との対話、病状・治療などに関する説明の満足度 (入外計)	平均点 4.0 点以上	4.2 点	105%
			クリニカルパス適用率	40.0%以上	49.6%	124%
			新規入院患者数	4,000 人以上	3,353 人	84%
			病床利用率	74.0%以上	65.9%	89%
			在宅復帰率 (急性期病棟)	80.0%以上	91.5%	114%
			在宅復帰率 (地域包括ケア病棟)	70.0%以上	82.2%	117%

		3 連携の強化等に係るもの	紹介率	50.0%以上	72.2%	144%
			逆紹介率	70.0%以上	95.1%	136%
			地域医療機関サポート率	60.0%以上	63.7%	106%
			公立八女総合病院との連携事例数	2 事例以上	0 事例	0%
		4 その他	初期臨床研修医数(年度当初)	2 名以上	2 名	100%
			地域医療支援室への相談件数	3,500 件 以上	7,526 件	215%
			感染管理認定看護師数	2 名以上	2 名	100%
		1 収支改善に係るもの	経常収支比率	100.0%以上	93.1%	93%
			修正医業収支比率	95.0%以上	85.1%	90%
			営業収支比率	100.0%以上	92.9%	93%
			病床利用率(再掲)	74.0%以上	65.9%	89%
6 経営の効率化等	1 経営指標に係る数値目標(数値は最終年度時点のもの)	2 収入確保に係るもの	患者 1 人 1 日当たり入院収益	55,600 円以上	47,683 円	86%
			患者 1 人 1 日当たり外来収益	15,100 円以上	15,779 円	104%
		3 経費削減に係るもの	材料費対修正偉業収益比率	20.0 %以下	19.6%	102%
			経費対修正偉業収益比率	17.0 %以下	22.3%	76%
			減価償却費率(対医業収益)	7.5%以下	8.6%	87%
			器械備品減価償却率	80.0%以下	81.5%	98%
		4 経営の安定性に係るもの	自己資本比率	33.0%以上	29.4%	89%
			常勤医師数	30 人 以上	27 人	90%

実績に対する筑後市立病院の総括

・地域の中核病院である公的医療機関として、近隣医療機関との連携を深めながら、住民の命と暮らしを支える役割を果たすべく、全職員が一丸となって業務に取り組んだ。しかしながら 2024 年の決算は、経常収支比率は 93.1 となり前年度比で 1.5 ポイント改善したが、純損失は約 3 億 1755 万円（前年度比▲4750 万円）の赤字となり、2 年連続の赤字計上となった。収支改善には、病床利用率の上昇が喫緊の課題であり、持続可能な医療提供体制を確保のため、経営基盤の安定化に向けて取り組んでいく。